

■施策評価シート 3-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-01-①	施策名	豊かな心と健やかな体の育成	

施策の概要
子どもの豊かな心の育成に向けて、道徳教育を進めるとともに、すべての子どもの多様性を受け入れるインクルーシブ教育を進めます。 小・中学校体力向上プロジェクトを推進し、「運動が好き」や「体育の授業が楽しい」という気持ちを大切にしながら、子どもの体力向上と健全な心身の育成を図ります。また、中学校給食の実施に向けた取組を進めます。

成果指標(単位)	「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(%)【上段:小学6年 下段:中学3年】				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	84.0 74.0	84.5 74.5	85.0 75.0	85.5 75.5
実績値	78.5 76.1	79.6 75.0	81.1 74.5	82.8 74.7	83.8 78.8

成果指標実績に対するコメント
全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合は、前年度に比べ、小学6年生は1.0ポイント増加したものの目標には達しなかったが、中学3年生は4.1ポイント増加し目標を上回った。授業や学校生活において、こどもたちの自己肯定感を高め豊かな心が育まれるよう、児童生徒一人一人に対してきめ細かな支援を行い、成功体験を感じさせる場面を大切にできるよう取り組んできた成果が表れたものと考えます。

施策の達成度評価
発達障害等特別な教育支援を必要とするこどもの増加に伴い、インクルーシブサポーターの配置や医療的ケアが必要な児童のため看護師を配置するなど、特別支援教育の充実を図り、よりきめ細かい支援を行うことができた。また、小学校でスポーツに親しむ機会が充実し、アスリートとの関わりを通じて運動やスポーツの体験ができた。また、部活動指導員と部活動支援員の配置により、部活動指導の充実を図ることができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方
児童生徒一人一人に対するきめ細やかな支援を大切に、こどもの自己肯定感を高め、心も体も健康になれる教育に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
インクルーシブサポーター配置事業	児童生徒支援課	○	特別な教育支援を必要とするこどもの増加に伴い、障害にかかわらず地域で学ぶことができるよう、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。
医療的ケア支援員配置事業	児童生徒支援課	○	日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童生徒に対し、きめ細かい支援を行うことができたため。
中学校体育推進事業	学校教育課	○	運動部活動指導員を派遣し、中学校の部活動が充実することで、こどもの体力の向上と健全な心身の醸成を図ることができた。また、部活動支援員の配置により、部活動における専門的な指導が充実し、継続してスポーツに取り組むこどもの育成を図ることができたため。
小学校体育推進事業	学校教育課	○	なわとびチャレンジを実施したことで、こどもたちのスポーツに親しむ機会が充実した。また、レッツエンジョイスportsによって、スポーツを知る、見る、することの体験を通して、進んで運動しようとするこどもの育成を図ることができたため。

■施策評価シート 3-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校給食材料購入事業	学校給食センター
小学校給食管理運営事業	学校給食センター
中学校給食材料購入事業	第二学校給食センター
中学校給食管理運営事業	第二学校給食センター
学校保健推進養護教諭配置事業	学校教育課
地域ぐるみの学校安全推進事業	学校教育課
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
学校環境衛生管理事業	学校教育課
学校災害賠償補償保険事務	学校教育課
学校保健推進事務事業	学校教育課
校医等配置事業	学校教育課
児童・生徒安全対策事業	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業	学校教育課
児童就学援助事業	学校教育課
就学時健康診断事業	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
生徒就学援助事業	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
通学路対策事業	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務	学校教育課
教育支援委員会運営事務	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業	児童生徒支援課
高校生等人権教育活動事業	児童生徒支援課
自主活動学級開設事業	児童生徒支援課
人権教育推進事業	児童生徒支援課
生徒指導推進事業	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業	児童生徒支援課
特別支援教育運営事業	児童生徒支援課
青少年美術展覧会開催事業	学校政策推進課
体験実践活動推進事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	4 17
施策番号	3-01-②	施策名	確かな学力の育成

施策の概要

子どもが確かな学力を身につけるため、ICT教育や英語教育の充実をはじめとした質の高い授業づくりや基礎的・基本的な知識および技能を生かして、思考力、判断力、表現力等を育む取組を進めます。

成果指標(単位)	「授業がわかる」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	88.45	88.60	88.75	88.90
実績値	88.30	89.30	88.70	89.10	89.50

成果指標実績に対するコメント

アンケート調査の結果、「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合は前年度より0.4ポイント増加し、目標値を達成することができた。児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善への継続した取組成果が表れたものとする。

施策の達成度評価

児童生徒が「知識・技能」や「学ぶ意欲」、「自ら課題を見つけ、主体的に学び、判断し、行動し、問題を解決する力」などを身につけられるよう、ICTを効果的に活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した。研究指定校2校(小学校1校・中学校1校)を中心に、各教科の学習や英語教育において授業の工夫・改善に取り組み、その取組内容を他校とも共有することで、実践の広がりを図った。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合が増加傾向にあり、あわせて「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」と回答した児童生徒が9割を超えるなど、ICTを活用した授業が日常的に行われている状況がうかがえる。今後は、これまで取り組んできた協働学習ソフトや家庭学習におけるAI型デジタルドリルの活用を一層深め、児童生徒一人ひとりの習熟度や学習スタイルに応じて、学び方や進度を柔軟に選べる授業づくりを進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
英語教育推進事業	学校政策推進課	○	市内全小中学校におけるALTの巡回指導や小学校オンライン授業の実施、市内4小学校へのJTE派遣により、英語教育の充実を図ることができたため。
学校ICT推進事業	学校政策推進課	○	ICT教育スーパーバイザーと連携し、ICT支援員による学校訪問や研修会を実施することで、教職員がICTの活用方法について理解を深める機会を設けた。これにより、ICTを取り入れた授業の工夫が進められ、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの充実を図る取組が継続的に行われたため。
子ども読書活動推進事業	学校教育課	○	全小中学校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や図書資料を活用した授業の支援等を行い、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動を推進することができたため。
小1学びの基礎育成事業	児童生徒支援課	○	小学校14校において、タブレットPCを活用しながら、児童の読みの力を分析・把握し、一人一人の課題に応じた多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を行ったため。

■施策評価シート 3-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
子ども読書活動推進事業	生涯学習課	○	乳幼児健診時等に、家庭読書の啓発チラシの配布や絵本展示を実施し、家庭での読書活動の啓発に努めることができた。 また、アートフェスタくさつにおいて「絵本のひろば」ブース設置や「えほんクイズラリー」を実施するなど、こどもの読書活動の啓発および推進を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学校教育支援教員配置事業	学校教育課
授業充実加配教員配置事業	学校教育課
スクールESDくさつ推進事業	学校教育課
学びの教室開催事業	児童生徒支援課
学力向上重点事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	4 17
施策番号	3-02-①	施策名	教職員の指導力の向上

施策の概要

教育の今日的課題に対応するため、各種研修講座（人権教育、教科教育、生徒指導、教育相談、特別支援教育、道徳教育、英語教育等）を開催するとともに、スキルアップアドバイザーを派遣し、各校でのOJT体制について指導・支援を行い、教職員の指導力の向上を図ります。

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4	90.0	89.1	90.1

成果指標実績に対するコメント

実績値は目標値を下回っているが、前年度に比べ1ポイント増加し、高い水準となっている。教員が講座、研修等で学んだことを活かし、令和6年度から市内全校での実施となった「スクールESDくさつ推進事業」や、各教科の学習でこどもたちの主体的な学びや協働的な学びを実践していることが一つの要因として考えられる。また、教育相談や特別支援教育の視点を生かし、児童生徒が安心してすごせる学級・学校づくりが進んでいることも要因と考えられる。今後についても、教職員のさらなる資質の向上のため、継続した取組が必要である。

施策の達成度評価

各種研修講座やスキルアップアドバイザーの派遣等の施策を実施するとともに、校内OJTの充実等、学校現場の課題に即した学びの場を作っている。また、令和6年度から全20小中学校にて実施することとなったスクールESDの取組については、各校1名ずつのESD推進リーダーを対象とした年間5回の研修や、市教委に配置したESDアドバイザーによる日常的なフォローアップを行うことで、各校において児童生徒を中心に据えた効果的な学習を行うことができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

学習指導力向上や学校現場の課題への対応力向上のため、管理職の指導・助言のもと、各校の実情に応じたOJTが進むよう、研修会の実施等により各校での体制づくりを支援する。また、スクールESDの取組については、各校におけるESD推進リーダーを対象にESDティーチャー養成プログラムを実施し、スクールESDの取組を充実させるとともに、児童生徒の主体的な学びになるような授業展開を「総合」の学習だけでなく、学校全体での取組となるよう努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
教職員研修事業	学校教育課	○	学力向上マネジメント会議や経験年数に応じた研修会、各教科等部会での授業研究会、講演会等を行い、教職員の実践力を高められたため。
講座開設事業	教育研究所	○	教職員の資質向上や学力向上等、次期教育振興基本計画を見据えた研修を実施することができたため。
スキルアップアドバイザー配置事業	教育研究所	○	各学校のニーズに応じてアドバイザーの派遣を行い、教員の資質向上ならびにICT活用力向上に関する支援を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育研究所指導員配置事業	教育研究所
教育研究所運営事務	教育研究所
教育調査研究事業	教育研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	4 17
施策番号	3-02-②	施策名	学校経営の充実

施策の概要

コミュニティ・スクールを推進し、地域と連携した学校経営の充実を図ります。また、教職員（市費負担による加配教員）をはじめ、スクールソーシャルワーカーや家庭学習サポーター等を配置し、学校の指導体制や運営体制の支援に取り組みます。

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4	90.0	89.1	90.1

成果指標実績に対するコメント

児童生徒へのアンケート調査の結果、「学校が楽しい」と答えた児童生徒の割合は目標値には到達していないものの、実績値は、令和5年度と比較すると1ポイント増加し、9割の児童生徒が「学校が楽しい」と回答しており、教室アシスタントやスクール・サポート・スタッフ等の配置により、児童生徒へのきめ細やかな対応を行ったことに対して児童生徒の評価が表れているものと考えられる。

施策の達成度評価

教職員が、いじめや不登校等の課題に対してチームで対応する体制の整備が進み、校内外の人材を活かした連携による対応がより広がってきている。また、教室アシスタントやスクール・サポート・スタッフ等の活用も定着し、児童生徒への支援がより行き届くようになってきている。今後は、コミュニティ・スクールの充実を図る中で、地域人材やボランティアの積極的な参画も視野に入れ、さらに質の高い学校経営の在り方について検討を深めていく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

保護者や地域、関係機関と連携し、課題に対して組織的かつ継続的に対応できる学校経営を推進するため、コミュニティ・スクールの充実、強化を図る。また、「チーム学校」の体制づくりを継続し、学校へスクールソーシャルワーカー等の専門職や支援員を配置するとともに、専門職へのつなぎ役となる教員の育成ができるよう研修の充実を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
コミュニティ・スクールくさつ推進事業	学校政策推進課	○	全小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校・保護者・地域が継続的に関わる協働体制の構築に取り組んできたことにより、組織的な連携が図られ、協議において熟議を重ねる意識が高まってきた。また、スクールESDくさつの推進に向けて、地域との連携を意識した取組が各校で進められたため。
スクール・サポート・スタッフ配置事業	学校教育課	○	市内全小中学校に1名以上のスクール・サポート・スタッフを配置し、採点業務や児童生徒の学習支援等を行うことで、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進の一助となったため。
中学校生徒指導主事活動推進事業	児童生徒支援課	○	児童生徒の問題行動等の未然防止および早期発見・早期解消に向け、学校を中心とした取組を充実させるとともに、関係機関等との連携や啓発活動を行うことができたため。
教室アシスタント配置事業	児童生徒支援課	○	市内小中学校(小学校では第1学年全学級)に教室アシスタントを配置し、児童生徒へのきめ細やかな支援を行うことで、円滑な学校適応支援を行うことができたため。
学校問題サポートチーム運営事業	教育研究所	○	学校だけでは対応しきれないケースについて、福祉的な視点や法的な視点を取り入れながら指導・助言を受け、改善につながった。

■施策評価シート 3-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学事管理事務	学校教育課
学校運営支援事業	学校教育課
学校基本調査事務	学校教育課
通学区域管理事務	学校教育課
学生ボランティア派遣事業	学校教育課
外国人児童生徒教育支援事業	児童生徒支援課
学校支援対策充実事業	児童生徒支援課
児童生徒支援事務	児童生徒支援課
学校問題相談支援事業	児童生徒支援課
児童通学支援事業	児童生徒支援課
学校運営支援事業	学校政策推進課
やまびこ教育相談室運営事業	教育研究所
学校運営支援事業	教育研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-③

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	4 17
施策番号	3-02-③	施策名	教育環境の充実

施策の概要

老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、学校図書や学習教材等の充実を図るとともに、学校内における事務等の効率化を図るため、情報化の取組を推進します。

成果指標(単位)	非構造部材の耐震化実施校率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	65.0	70.0	70.0	75.0
実績値	65.0	65.0	70.0	70.0	75.0

成果指標実績に対するコメント

計画どおり中学校1校(1期分)を実施したことにより、目標値を達成することができた。

施策の達成度評価

計画どおり工事を実施し、非構造部材の耐震対策を図ることができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

市内すべての小中学校で非構造部材の改修が完了するよう国の交付金を取り込みながら計画的に工事を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校大規模改修事業	教育総務課	○	計画どおり長寿命化改良工事に係る耐力度調査を実施することができたため。
中学校大規模改修事業	教育総務課	○	計画どおりトイレの改修を実施することができたため。
校務情報化推進事業	学校政策推進課	○	校務用コンピュータの維持管理を行い、校務支援システムの運用および学校・保護者・地域間の情報共有アプリ、学校ホームページへのCMSの活用により、校務の効率化を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
小学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校管理運営事業	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課
中学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校校舎等整備事業	教育総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。